

ガス衣類乾燥機（乾太くん）



乾太くんユーザーの声

一度使ったら手放せない、ガス衣類乾燥の良さ

- 天気を気にせず洗濯ができる！
- 共働きなので洗濯の時間が短縮できてうれしい！
- 外干しと違って乾燥する際に花粉がつかない！

「乾太くん」ご使用中のお客さまの声

旅行先のコンドミニウムで「乾太くん」を使ったことがきっかけで、3年ほど前に購入しました。

今では、「乾太くん」なしの生活は考えられないほど、うちでは一番の働き者です!!

天気も花粉も全く気にしないくていい”洗濯ストレスフリー”の生活を過ごしており、心からおすすめできる商品です。

(I・Nさま)

「乾太くん」ご使用中のお客さまの声

汚しざかりの2人の小学生は、毎日大量の洗濯物を出してくれます。

体操着や給食係のかっぽう着なども、夜に洗濯してスピーディに乾燥できるから大助かり。

翌日、余裕で子どもたちに持たせることができます。

「乾太くん」はとっても頼りになる、我が家の一員です。

(M.Eさま)

パワフルでスピーディ！家事がてきぱき進みます

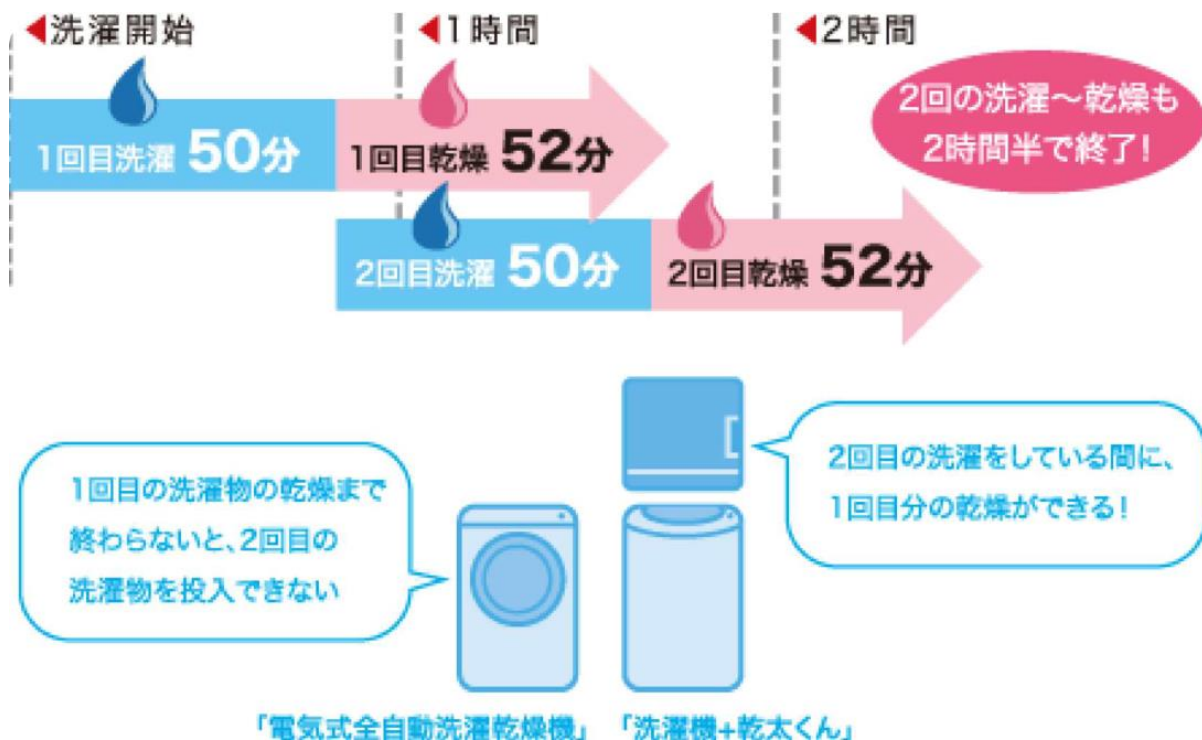
ガス乾燥機の最大のメリットは「圧倒的なパワーでのスピード乾燥」。
クリーニング屋さんなど、プロが使う乾燥機は断然ガスなんですよ。

はやい乾太くんなら、洗濯機から取り出してそのままポンと入れるだけで、約5kgの洗濯物をなんと約52分(注)でフル乾燥！

注) 実用衣類5kgの洗濯物を乾燥(綿80%、化繊50%)/脱水度70% 気温25℃ RDT-54S-SV・標準コースで算出。ガス種：13Aの場合で約52分(リンナイ調べ)

また、小さなお子様や、スポーツをがんばるご家族がいて、大量の洗濯をこなさなければならぬご家庭にぴったりなのは、2回目の洗濯をしている間に、1回目分の乾燥ができることです。

全自動洗濯乾燥機では不可能な家事の時短テクニック、ご活用ください。



「生乾き臭」の悩みを解決します！

洗濯物を室内干しをすると気になる生乾き臭。

その原因は「モラクセラ菌」にあります。

[モラクセラ菌とは]

家庭内のさまざまな場所に存在する菌の一種。

洗い残ったたんぱく質などを餌に増殖し、雑巾のような悪臭を放つ原因となります。

65°Cの熱に10分間さらされると、発育が抑制されます(注1)。

注1) 出典：「International Journal of Systematic Bacteriology(IJSB)」(1967年)

80°C以上の温風で乾燥する乾太くんなら、「モラクセラ菌」の発育を抑制し、生乾き臭の心配がありません。

乾太くんなら菌の減少率 99.9%(注2)

出典：リンナイ（株）

注2)

試験機関：愛知学院大学薬学部

試験対象：モラクセラ・オスロエンシス

試験条件：RDT-52S 標準コースで乾燥

試験方法：菌付着布の生菌数測定。

緩衝液中で菌を洗い出し、寒天平板にて培養。



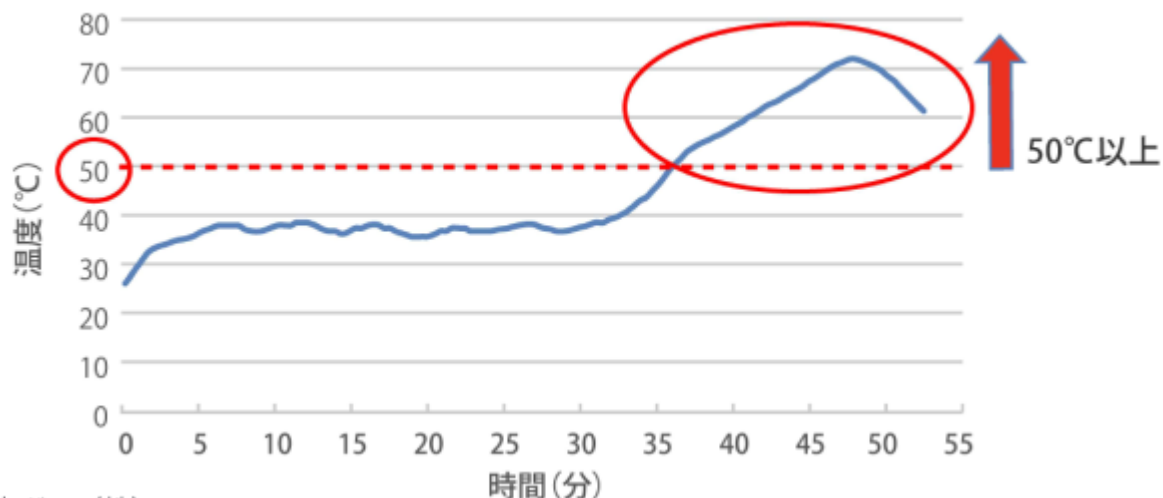
乾太くんでダニ死滅！

最近の住宅は気密性が高く、室内の温度が安定しているため、ダニが繁殖しやすい環境であると言われています。
ダニの死滅に有効なのは熱。
ダニは「50°C,20分」(目安)の熱で死ぬと言われています。



乾太くんはパワフルな温風で乾燥するため、衣類の温度は50°C以上にもなります。

乾燥中の衣類温度

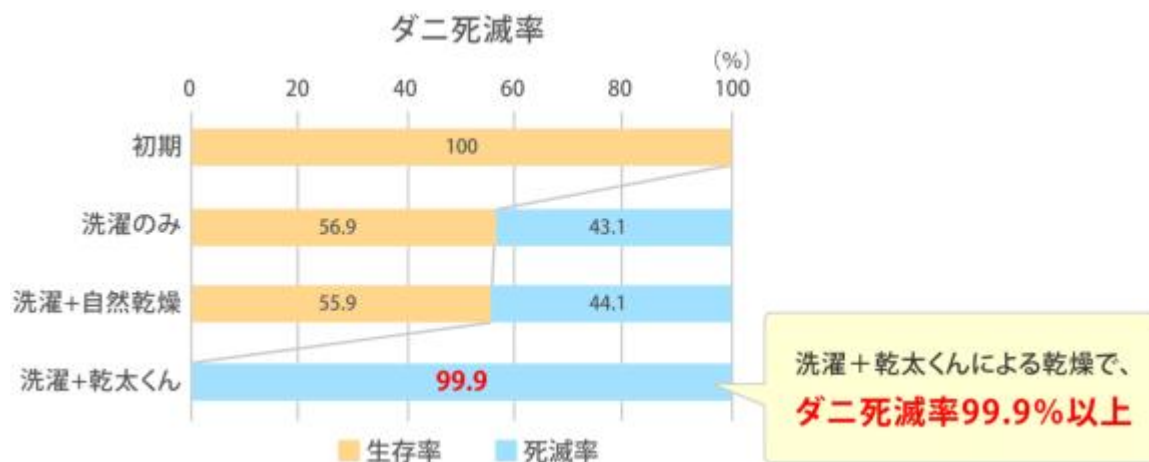


出典：東京ガス（株）

実験条件 (n=3)

- ・実用衣類4.2kg（一般社団法人日本電機工業会の基準に準拠）の洗濯物を乾燥させた際に、温度ロガーが記録した各時点における温度の平均を算出
- ・乾太くん：RDT-52S、標準コース

洗濯し、乾太くんで乾燥した後のダニ死滅率は99.9%以上であることがわかりました。



- ・使用衣類：毛布（ポリエステル製、シングルサイズ）
- ・洗濯：東芝AW-E80HVP、毛布コース
- ・自然乾燥：人工気候室内（室温18.4℃・湿度35%）でサーキュレーター風の風をあて3時間乾燥
- ・乾太くん：RDT-52S、シーツ・毛布コース